



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

こうへい
山田耕平
です

2026.8.27 No.567

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい



外環道オープンハウス開催 相次ぐ事故と振動に住民から疑問 グリルド損傷の原因説明「推定」の域を出ず

外環道工事に関する主な事故事例について

【地表面陥没・空洞事故】

○工事現場付近での地表面陥没事(2020年10月)

【河川への漏気等】

○東名JCT周辺の野川の気泡等(2018年5月)

○大泉JCT周辺の白子川における漏気(2019年8月)

○調布市入間町付近の野川における漏気(2020年3月)

【掘進時や地上部における事象等】

○大泉側本線シールド(南行)鋼材接触による掘進停止(2022年4月)

○調布市入間町の野川サイクリング道路(管理者:狛江市)における舗装の損傷(2023年8月)

【シールドマシン部材の変状等】

○東名JCT Hランプシールドトンネル テールシールドの変状(2023年12月)

○大泉側本線シールド(北行)スクリーコンベヤーの変状(2024年11月)

○大泉側本線シールド(南行)大ギヤの変状(2026年4月)

※ここに示されていない事故もあります。

過去の事故一覽示さず…

前回、参加者から相次ぐ事故について時系列の一覽と概要を示すよう求める声がありました。今回は「ホームページの記載はありませんでした。担当者は「ホームページをご覧いただきたい」と回答。しかし、ホームページにも事故をまとめた一覽はなく、過去の情報を一つひとつ探さなければなりません。事故が相次いでいる経過を住民が容易に確認できない情報提供のあり方は問題です。



8月26日、桃井第四小学校で東京外かく環状道路(関越・東名)のシールドトンネル工事に関するオープンハウスが開催され、私も参加しました。主要なテーマは、1月から掘進を停止している南行シールドマシン「グリルド」の損傷原因です。

杉並区内の振動「16件」

山田からは、先行する北行シールドマシン「カラスキイ」の掘進に伴う振動について質問。

事業者は、昨年12月25日から今年6月30日までの杉並区内の掘進で16件の振動に関する問い合わせがあり、外環道工事に起因すると考えていることを明らかにしました。

振動低減のため滑剤を使用しているものの、効果がある場所とない場所があるとの説明もありました。

事業者は善福寺川周辺で振動の訴えが多かったとしましたが、参加者からは他の地域でも発生しているとの指摘が相次ぎ、「そもそも地上に影響が出ることも自体が問題」との声も上がりました。

「地上に影響しない」はずでは

グリルドの損傷原因については、2022年の地中壁鋼材との接触を起点とする説明がされましたが、あくまで「可能性」「推定」です。異音が確認されるまで約4年間、損傷進行の兆候を把握できなかったことにも疑問が相次ぎました。

補修期間も道路の開通時期も見通せないとの回答がありました。

大深度地下の利用は「地上への影響がない」ことを前提として進められてきました。しかし、実際には事故や振動・騒音が繰り返されています。杉並区も大深度地下使用法のあり方に疑義を示しています。住民の安全を最優先に、原因究明と情報公開を徹底することが必要です。

※シールドマシン掘進状況は裏面に掲載。

各分野の皆さんと予算要望懇談を進めています

岸本さとし区長の２期目にあたっての所信表明を受け、各会派が代表質問を行ないます。私も日本共産党杉並区議団を代表して質問に立ちます。お寄せ頂いたご意見等も代表質問に反映させていただきます。

現在、日本共産党杉並区議団では、来年度予算に向けて区内のさまざまな団体との懇談を重ねています。

障害者福祉、高齢者福祉、女性施策、建設・建築、商店街、保育など、幅広い分野から、現場が抱える課題や切実な要望を直接伺っています。制度の改善や人材不足、物価高騰への対応など、区政に求められる課題も数多く寄せられています。

こうした声を、党区議団の来年度予算要望にしっかりと反映するとともに、議会論戦でも取り上げ、施策の前進につなげていきます。貴重なご意見をお寄せいただいている皆さんに心から感謝いたします。

■9月1日(火) 14時～
岸本さところ長の記者会見も
開催予定です。
ぜひご覧ください。
右QRコードをご利用ください。



右QRコード)からご覧ください。

